

# 平成28年度 事業報告書

## I 法人事業の概要

平成28年4月の診療報酬改定では、療養病床のみなし措置は継続となった。また、診療報酬の本体部分はプラス改定であり、障害児医療分野については特に大幅な増減を伴わない改定であったため、総体として4%增收となった。

社会福祉法の改正については、情報収集に努め共有を図るとともに、定款等の改正、評議員の選任、理事の補充等、必要な対応を計画的に進めた。また、会計監査人の選任が当面必要ないこと、社会福祉充実残額が今年度は発生しない見込みであること等を確認した。

平成28年度は利用者の骨折事故3件、誤嚥事故1件が発生した。また、職員に対する事故が発生することが増えたことから、安全推進専門部会で職員に関するインシデント報告の書式を作成し、今後、衛生委員会で原因分析などに取り組むこととした。

利用者的人権尊重の意識を徹底するために、職員研修を行うとともに、専門部会を開催して、法人の理念を具体化するために、従来の行動指針を発展させた倫理綱領及び行動規範を策定した。

大分センターにおいて、九州厚生局の個別指導の結果、自主返還金が発生し、その清算に取り組むとともに、再発防止策の徹底にも取り組んだ。

以下にその実績を報告するとともに、各施設の個別事業についても概要を取りまとめて報告する。

### 1 職員の人権意識の醸成

虐待防止委員会を開催して、人権意識の高揚を図るとともに、別府市人権同和教育啓発課から相談員の釘宮氏と河野氏を講師に招いて「人権感覚ってなんですか?」と題した職員研修を都合2回、全職員を対象として実施した。参加率は約60%であった。また、各施設において職員を選定し、県主催等の人権研修等へ参加した。

### 2 利用者に対するサービスの質の向上

倫理綱領及び行動規範を策定し、サービスの向上を図った。

第三者評価機関による評価は、昨年度と同様、「多機能型事業所」にマッチした評価基準が示される時期を待って、今年度も受審を見送った。

苦情解決委員会を定期開催して、苦情10件について検討し、サービスの改善に努めた。

また、今年度は利用者満足度調査を実施した。別府センター、大分センターのどちらでも、前回同様「よい」と「大変よい」の合計が80%を超える良好な結果が得られた。また、別府センターでは「よい」から「大変よい」に全体の10%が移行し、サービスの向上が

認められた。

### 3 人材の確保及び職員の資質の向上

医師の確保については、センター長が率先して大学等への働きかけを行い、大学からの派遣を受けやすくなるよう医師の所定労働時間を新年度から週32時間とする等、センター独自の取り組みのための規則改正を行った。その結果、産休代替の医師の派遣を受け、年度を通して小児科医2名体制で業務を行い、医療体制が確保された。また、内科医の採用にも取り組み、常勤医師の採用はできなかったものの、非常勤医師の協力を得ることができた。

他の職種の採用については、新たに臨床工学技士を採用し、医療機器の安全管理等の充実を図った。また、欠員となっていた臨床心理士1名と言語聴覚士1名を採用することができた。看護師、保育士等は計画的に採用し、必要数を確保したが、介護福祉士の採用は困難であった。

また、人事考課制度の運用について専門部会で検討を行いやりがいを感じられる制度への見直しを行った。

職員の資質向上については、各部署が年度当初に立てた出張計画を順調に遂行し、資質向上に取り組んだ。学会発表のための特別予算枠を利用して、職員22名が学会発表を行うとともに、自己啓発支援制度も10名の職員が利用して介護福祉士等の資格を取得した。

### 4 安全対策の徹底

医療等安全管理委員会の指示のもと、安全推進専門部会においてインシデントの原因分析、再発防止策の検討に取り組んだ結果、昨年9件発生した事故は、今年度4件と減少し、一定の成果が見られた。

また、職員の労働災害については、利用者の特性を十分に把握できていないことにより、新採用職員が怪我をする傾向がみられたので、事故が集中しためじろ園ではマニュアルを作成して、情報の共有に努めた。

衛生委員による職場ラウンドを実施し、改善が必要な箇所を指摘し、勤務環境の改善に努めた。

### 5 効率的で透明な法人運営と地域貢献の推進

地域貢献の一環として、新たに、家庭の諸事情で学習環境が整わない児童への支援として、学校教員OB等のボランティアの協力を得て、学習の場と家庭的雰囲気を提供する「つるみほっこり村」の運営を開始した。

社会福祉法の改正については、理事会等において、その概要を報告し情報共有を図るとともに、スムーズな対応に努めた。評議員選任・解任委員会を開催して、新評議員の選任を行った。また、新年度以降、役員と評議員を兼務できないことから、理事の補充を施設長等の職員で行うことについて評議員会の承認を得た。

障がい者雇用については、法定雇用率は達成しているものの、更なる拡充を図るため、就職説明会への参加等の取り組みを行ったが、センターが必要とする就労時間と本人が希望する就労時間のすり合わせができず、新たな雇用には至らなかった。

## 6 中期計画の確実な進行管理

社会福祉法の改正の内容を吟味して、法人組織の再編に取り組み、今後も安定的に事業を運営していくための基盤づくりに取り組んだ。

平成30年に予定する、大分センターの大規模修繕の費用を概算して新年度予算に反映した。また、地域支援センターほっとの建て替えに関する必要なスペースや床面積等の要求を取りまとめるとともに、事業内容についても検討の機会を持った。

## 7 主たる事業の概要

「総務課」は、重要事項を複数担当して、遅滞ない業務の執行に取り組んだ。組織定数、人事異動、予算要求についてはヒアリングを実施し、現場のニーズに応じて公正かつ適正な取り組みを行った。

人材確保のため、年齢給の初任給部分を中心に改定案を策定し、理事会の承認を得て4月に実施することとした。

職員の採用については、専門職等の採用が依然として厳しいが、就職フェアのあとに試験を実施したり、複数回の試験を実施したりするなど様々な取り組みを行い、概ね、予定通りの採用をすることができた。

また、厚生局の個別指導の結果を受け、医療事務係を中心として別府、大分両センターでリハの算定基準を徹底できるよう担当部署を支援して、診察とりハの流れを見直す等の対策を行い、再発防止に努めた。

大分センターでは、受付として准職員を1名増員して、原則2名体制で窓口事務を行うこととし、正規職員の業務負担を軽減した。法人事務局等と連携して、診療収入の維持と勤務体制の見直しが両立するよう、資料の作成、検討会議等に参加した。

センターの関係部署と緊密に連携して、こじか園やりんくの利用者増に取り組んだ。

相模原市で起きた障害者施設殺傷事件を受けて、非常通報装置や防犯カメラ等の設置工事を国・県の補助金を受けて施工し、各所属の職員と協議を行った上で催涙スプレーや窓ガラスの防犯シール貼付等防犯対策を実施した。

「企画室」は、今年も会議・委員会の運営を中心に業務を行った。

管理職会議に倫理綱領策定専門部会を設置し、素案を職員にフィードバックし意見を求めるなど職員参画のもと、従来の行動指針を発展させて倫理綱領及び行動規範を策定した。

給与・人事考課専門部会を開催して、人事考課制度をより適正に反映させるために、考

課結果を賞与に反映させるよう改定した。また、管理職会議ではペーパーレス化の促進に取り組んだ。

ボランティア委員会で「西別府病院」を見学して、ボランティアと職員、ボランティア同士の意見交換会、ボランティアの募集方法、活動の展開、新規ボランティアの開拓や養成などの先進的な取組みについて学習した。また、別府発達医療センターボランティアの会の大和証券福祉財団や豊和銀行等の助成金獲得に取り組み、おもちゃ図書館もくばの設備の充実につなげた。

熊本地震により被災した施設の部分改修工事を、国・県の補助金を受けて実施した。

「地域療育連携室」は、大分県や大分市から受託している障がい児等地域療育等支援事業や、別府市の委託相談支援事業等に加え、別府市、大分市指定相談支援事業に取り組み、現利用者からの紹介でサービス利用計画の作成依頼が増加した。別府の「ぱれっと」では410件、大分の「たっち」では障がい児を中心に441件の実績となった。

巡回相談等からは、別府センター外来に32人、大分センター外来に7人を繋げるとともに、他療育機関への紹介を行った。

各部署と連携して入所者の退院調整支援を開始した。また、外来利用者にひばり園等の療育サービスを紹介した。

他医療機関のMSW（メディカルソーシャルワーカー）との関係づくりに取り組んだ。別府市内の相談員を対象として入所部門の見学会を開催し12事業所からの参加を得た。別府市及び大分市の教育委員会の協力を得て、本年度も就学相談会を開催した。支援学校や支援学校PTA主催の研修会で福祉サービスについて説明した。また、杵築市の地域包括ケア会議に助言者として参加した。

施設支援一般指導事業を児童発達支援事業所等にも広げ、リハビリ等の終了時のスムーズな引き継ぎに繋げた。

大分の地域療育連携室では、巡回相談や外来診療希望等でフォロー中の子どもたちにカンガルー広場を開いて療育の場を提供した。早期から保育士の関わりに触れることで、ひばり園やこじか園などへつながるケースも増えている。

大分市教育委員会が作成した「つながりファイル」を軸に、子どもを中心とする多様な関係者間の情報共有に取り組んだ。また、研修会等の講師や助言者として関係づくりに取り組んだ。

「外来診療部門」では、新患数は別府センターが619人で対前年度195人減、大分療育センターが298人で対前年度15人減、障がい者歯科は、別府センターが71人で対前年度21人増、大分センターが194人で対前年度20人減となった。別府センターの減少理由としては、希望は多いが、医師の診察が既存の患者への対応で手いっぱいであり、新患の受け入れを制限したことが挙げられる。また、別府センターの歯科については、退職した歯科衛生士の補充ができなかつたため、年間を通して金曜日に開所できなかつた

ことによる。大分センターの歯科においても、同様に歯科衛生士の不足のため稼働できなかったことの影響で、新患数の受け入れが減少した。

一方で、再来を含めた1日平均の患者数は、別府センターが56.6人で対前年度と同数、大分センターが71.5人で対前年度1.5人増と、前年度に比べて別府センター及び大分センターともに増加している。

障がい者歯科の1日平均の患者数は、別府センターが10人で対前年度1.8人減、大分センターが15.9人で対前年度2.7人減と、歯科衛生士の不足が影響した。

また、薬剤については、調剤数が12,481件で対前年度1,616件の増加となった。オーダーシステムが本格的に稼働して、医師や薬剤師による処方から調剤までの入力作業等の事務作業の負担が軽減されたことが反映されたと考えられる。

「リハビリテーション課」の年間実施単位数は、別府センターが68,878単位で対前年度2,507単位の増、大分センターが55,990単位で対前年度141単位の増となった。別府センターの増については、入所部門のリハの充実が図られたことによる。

別府センターでは、PTは、手術後の状態からの早期の機能回復や有期有目的の入所児等への機能向上に対して、集中的なリハビリを実施して成果をあげた。OTは、講演や研修会の講師を積極的に受託して、地域の療育力の底上げに取り組むとともに、保護者に向けた壁新聞を作成して情報提供を行った。STは、医師の指示のもと嚥下造影検査を継続した。また、積極的に保育士や臨床心理士と連携することで、マンパワー不足に対応した。また、全体として、学会発表等に積極的に取り組んだ。

大分センターでは、3か月に1度という診察間隔の徹底、カンファレンス体制の整備、自立度の評価表であるFIMの実施期間の設定、リハビリの終了基準づくり等、安定してリハビリが実施できる体制づくりに努めた。新患診察、カンファレンス、診察予約等について見直しを行い、外来診察の標準化に取り組んだ。症例検討会を開くとともに、外部講師による研修会も開催するなど資質の向上に努めた。また、緊急時対応のシミュレーションとして、地震を想定した取り組みを実施した。

「別府整肢園」では、定められた感染症対策を遵守・徹底して、インフルエンザの発生時、その対応に取り組み、数名の感染発生にとどめることができた。また、早期の支援計画立案・実行を推進して、摂食機能が未熟な入所児にチームアプローチを行い経口摂取が可能となるとともに、外部関係機関と協議を重ね、連携して退院後の地域生活の基盤を整えるなどの成果を得ることができた。

ティーボールの練習を通じて仲間としての連帯感や責任感を醸成するとともに、初参加の大会では3位入賞という結果に伴う達成感などの得難い経験をさせることができた。

入所利用の新規契約は延べ167人で、昨年同様、安定していた。1日当たりの平均は41.9人で、昨年度より1.7人増加した。

手術件数については57例で、前年に比べ15例の減であった。このほか、ボトックス治療は対前年度40例減の200例であった。

歯科については全身麻酔下での歯科処置を対前年度6例減の27例実施した。診療件数も、前年に比べ374件減の689件となった。

「めじろ園」では、入所児者全員のご家族、後見人と個別面談を行い、入所児者の様子や支援内容について適切に説明するとともに、要望やご意見をいただくなど情報の共有に努めた。身体拘束を見直し、安全で快適な生活につなげた。また、職員に接遇アンケートを3回実施して、自身の振り返りを促し、サービスの向上につなげた。

施設内で、トランスファ、歯磨き介助、摂食介助など様々な勉強会を行い、知識・技術の共有と向上に取り組んだ。

園外レクリエーションで4名の方にご帰宅していただきたり、ゲストルームで家族水入らずの誕生会を楽しんでいただくなど、積極的に家族とのふれあいを支援した。

ユニットを4つから3つに再編して職員配置を見直し、より安全で充実した支援や日中活動を提供して生活の質の向上に取り組んだ。一方院内感染対策については流行が抑えきれずに、課題を残す結果となった。

1日平均入所者数は57.5人で、昨年を若干下回った。また、短期入所は定期利用者の利用日数の増加、新規契約者の増加等で延べ480名と昨年を上回る結果になった。

「ひばり園」では、保育所等訪問支援を延35人に実施、また、保育所等への施設支援を86回実施する等、地域のニーズに応えて支援に取り組んだ。

父子通園や保護者面談、保護者講座等を実施して家庭療育の充実を支援した。特に計18回の保護者講座には延241名が参加した。

大分県発達支援協議会事務局として、年2回の研修会を企画・運営するとともに、「児童発達支援員養成研修」を開いて、1日コース38名、5日コース23名の参加を得るなど、県下の児童発達支援に関わる会員の専門性の向上に取り組んだ。

利用者については、一日平均利用者数は15.6人（年間、延3,965人）で、対前年度に比べ1.7人の減となった。

「ほっと」は、別府市内を中心に各事業を推進した。放課後等デイサービスは、1日平均利用者は7.1人となり、前年度に比べ0.3人（年間、延1,898人）の増となった。利用者のニーズに応え送迎を開始し、新たな利用者の獲得にもつながった。生活介護事業は、1日平均利用者は18.6人と、前年度に比べ0.8人の減となった。

生活介護事業については、パーテーション等を整備し利用者の特性に応じて環境を整えたことから、個別的な活動が容易となるとともに、空間に余裕が生まれ、活動のバリエーションが広がり、サービスの向上につながった。また、支援目標や支援内容を一覧にする

ことで、職員への支援内容の周知を徹底し、より共通性のある関わりができるようになつた。

放課後等デイサービスでは、子どもたちの自己決定を尊重し、責任を持った行動ができるよう見守った。コミュニケーション手段を適切なツールで確保できるよう支援するとともに、長期休暇時、時間に余裕がある時期には、おやつづくりやお出かけ、ゲーム大会などを行い、SST（ソーシャルスキルトレーニング）的な関わりを行つた。

「大分療育クリニック」では、九州厚生局の社会保険医療担当者個別指導を受けて、診療報酬返還の指摘を受けたことから、3か月に1度、確実にリハビリテーション実施計画書が発行できるよう、関係部署と検討を重ね仕組を整えた。増加する新患の受け入れを可能にするため、リハビリ等の終了について一定の基準を設け、平等かつスムーズな診療開始の実現に取り組んだ。

カンファレンスの充実のために時間帯等を見直し、関係職員の参加がスムーズになるよう改善した。

カルテの持ち帰りやカルテバッグの鍵の閉め忘れで、患者が開示の手続きがないままカルテの記載内容をみてしまう等の報告があった。管理体制の強化について検討をした結果、リハビリ開始時のカルテの運搬については職員が行うこととし、看護師や受付事務員が対応することとした。以上の対応で再発は防がれている。

「障がい者歯科」では、毎朝のミーティングや他部署との情報の共有等、迅速な対応のための仕組づくりに取り組んだ結果、安全性が向上し事故ゼロを達成した。

積極的に学会・講演会に参加するとともに、参加職員のミーティングでの伝達を義務付けて、職員全体の知識とスキルの底上げに取り組んだ。

今年度は、歯科衛生士1名が病休、1名が産休・育休を取得し、代替職員の確保ができずに十分な診療体制がつくれないまま終了し、次年度に課題を残す結果となった。県歯科医師会が障害児・者の歯科診療体制の整備を目的に「障がい者歯科センター(仮称)」を開設することから、障がい児者の歯科診療ネットワーク上での位置付けや収支の改善等も含めながら、歯科の在り方についての検討を継続する。

「こじか園」では、4月当初の契約は51人、3月末の契約者数は54人で、昨年度、増加した利用契約が、年間を通して維持された。1日平均利用者は14.7人となり、前年度に比べ0.8人（年間、延3,569人）の増となった。

また、保育所等訪問支援事業は、延23回実施し、ほぼ昨年度の水準を維持した。年長児の保護者に対しては、子どもをほめることなどを基本とするペアレント・トレーニングの講座を計3回実施し、好評を得た。また、職員の資質向上に向けて、「接遇」「相談支援援助術」「SST」「音楽療法」など、多様なテーマで20回、施設内研修を行つた結果、

子どものニーズに合わせて、多様な支援が試みられるようになった。

関係機関、団体等の研修会に講師を派遣して、こじか園の療育レベルの質の高さをアピールした。

「りんく」では、前年度に続き利用者の増加に取り組んだ。実習生を計6人受け入れるとともに、実習などの機会をとらえて、担当教師にパンフレット等を配布して広報活動に努めた。その結果、生活介護事業利用者2名と放課後等デイサービス利用者4名の新規利用が始まった。1日平均利用者は9.2人となり、前年度に比べ1人（年間延数は人211増）の増となった。

年2回の個別面談や年度末のアンケート調査で、利用者や家族のニーズや背景の聞き取りに力を入れて、状況を把握した上で支援計画が作れるよう取り組むことで、より個別的な、状況に応じたサービスが提供できた。

送迎については、可能な範囲で要望に沿えるよう送迎時間を変更するなど柔軟な対応をおこなうなどサービスの向上に努めた。

新規のボランティア1名を加え、今年度は延75名のボランティアの協力を得て、外部の視点を取り入れるとともに、利用者に新鮮な人間関係を提供することができた。

## II 法人運営の状況

### 1 理事会の開催

#### (1) 平成28年度第1回理事会

開催日 平成28年5月27日

開催場所 別府発達医療センター 会議室

- 審議事項
- ・平成27年度事業報告について
  - ・平成27年度決算について  
(監事の監査報告)
  - ・諸規程の一部改正（案）について
  - ・評議員の選任について

#### (2) 平成28年度第2回理事会

開催日 平成28年10月28日

開催場所 別府発達医療センター 会議室

- 審議事項
- ・定款の改正（案）について
  - ・院内感染対策指針の一部改正（案）について
  - ・倫理綱領等の策定について

#### (3) 平成28年度第3回理事会

開催日 平成28年12月7日～平成28年12月22日

開催場所 持ち回り理事会

- 審議事項
- ・定款改正案の一部修正（案）について

#### (4) 平成28年度第4回理事会

開催日 平成29年1月27日

開催場所 別府発達医療センター 会議室

- 審議事項
- ・評議員選任・解任委員会運営細則（案）について
  - ・評議員選任・解任委員会委員の選任（案）について
  - ・諸規程の一部改正（案）について
  - ・次期評議員候補の推薦（案）について

#### (5) 平成28年度第5回理事会

開催日 平成29年3月24日

開催場所 ホテル白菊 さわらびの間

- 審議事項
- ・平成28年度第1回補正予算（案）について
  - ・平成29年度事業計画（案）について
  - ・平成29年度当初予算（案）について
  - ・諸規程の一部改正等（案）について
  - ・施設長等の任命（案）について

## 2 評議員会の開催

### (1) 平成28年度第1回評議員会

開催日 平成28年5月27日

開催場所 別府発達医療センター 会議室

審議事項

- ・平成27年度事業報告について
- ・平成27年度決算について  
(監事の監査報告)
- ・諸規程の一部改正（案）について

### (2) 平成28年度第2回評議員会

開催日 平成28年10月28日

開催場所 別府発達医療センター 会議室

審議事項

- ・定款の改正（案）について
- ・院内感染対策指針の一部改正（案）について
- ・倫理綱領等の策定について

### (3) 平成28年度第3回評議員会

開催日 平成29年1月27日

開催場所 別府発達医療センター 会議室

審議事項

- ・評議員選任・解任委員会運営細則（案）について
- ・評議員選任・解任委員会委員の選任（案）について
- ・諸規程の一部改正（案）について

### (4) 平成28年度第4回評議員会

開催日 平成29年3月24日

開催場所 ホテル白菊 さわらびの間

審議事項

- ・平成28年度第1回補正予算（案）について
- ・平成29年度事業計画（案）について
- ・平成29年度当初予算（案）について
- ・諸規程の一部改正等（案）について
- ・理事の選任について

## 3 監事の監査

### (1) 決算監査

年月日 平成28年5月17日

場所 別府発達医療センター 会議室

内容 平成27年度業務の執行状況及び財産の状況

**(2) 中間監査**

年月日 平成28年11月15日

場所 別府発達医療センター 会議室

内容 平成28年度上半期の業務の執行状況及び財産の状況

**4 評議員の選任等**

**(1) 異動に伴い、次の方が選任された。**

氏 名	委嘱年月日	備 考
田 原 邦 昭	平成28年5月27日	新任
清 末 直 樹	平成28年5月27日	新任
中 尾 薫	平成28年5月27日	新任

## 5 サービスの質の向上

今年度は、別府・大分両センターにおいて利用者満足度調査を実施した。

設問事項については、過去の調査との比較ができるよう変更せず、前回同様に「スタッフの対応や印象」に関する項目は、「笑顔」、「親切さ」、「挨拶」、「言葉遣い」、「服装」、「電話応対」の6項目とし、「挨拶」に「声かけ」を追加するとともに、別府・大分両センターで同種の部署・部門については、比較分析を容易とするため、設問事項を統一化した。

また、外来診察のみの利用者と、診察と合わせてリハビリを受診する利用者とを区別できるよう、アンケート用紙の様式を改めた。

アンケートの実施方法については、前回調査と同様に、来所時にアンケート用紙を配布し、回収箱等を設置して回収するほか、郵送するなどした。前回、やや低調であった回収率の向上を図るため、通園部門では、配布時と降園時にアンケート用紙の提出を呼びかけ、入園部門では、面会日や外泊時の保護者の来所時に手渡し、郵送の際には「わからない質問は無回答で可」の旨の文書を同封するなどした。

調査期間	平成28年10月1日～10月31日 1か月間	
調査方法	アンケート方式（調査用紙の配布・郵送）	
配布枚数	別府センター	585枚 大分センター 462枚
回収枚数	別府センター	449枚（回収率76.8%、前回70.4%）
	大分センター	383枚（回収率82.9%、前回95.9%）

### (1) 別府発達医療センター

全体的には、前回よりも5の「大変良い（満足）」の割合が大きく伸びて、4の「良い（ほぼ満足）」と合わせた良い評価の割合は前回とほぼ同程度の80%台をキープしていることからも、前回よりも利用者満足度は向上しているといえる。しかし、一方では1の「たいへん悪い（大いに不満）」の割合も僅かながら増加していることから、引き続き全体的な満足度の維持、向上に努める必要があると考える。

### (2) 大分療育センター

全体の調査結果は、5段階評価で5の「大変良い（満足）」は61.8%、4の「良い（ほぼ満足）」は27.5%で、これらを合わせた良い評価の合計は89.3%となり、前回よりも1.3ポイント増加した。また、3の「普通」は8.4%と前回よりも2.4ポイント減少し、2の「やや悪い（不満）」と1の「たいへん悪い（大いに不満）」を合わせた割合は1.4%と前回よりも1.2ポイント増加した。なお、無回答は0.9%と前回よりも0.4ポイント減少した。

（※大分療育センターについては、前回調査時は「良い」・「普通」・「悪い」の3段階評価であった。）

前回調査時よりも、良い評価の割合が9割近くに増えてはいるものの、その一方で、別府センターと同様に悪い評価も増加しており、引き続き満足度向上に向けた努力が必要と考える。

## (まとめ)

今回のアンケート調査でも、利用者・保護者の方から多くの貴重な意見・要望をいただくことができ、サービス向上を目指す上での業務改善や環境面の整備等のヒントを得ることができた。

寄せられた意見の中では、外来・リハビリでは、別府・大分センターともに、「予約が取りづらい（特に新患）」、「診察・リハビリの間隔が開きすぎる」、「待ち時間が長い」という意見が多くを占めた。また、「受付時の説明不足」、「リハビリの内容を説明してほしい」、「問い合わせに対する回答が遅い」などの意見も挙げられており、利用者に対する丁寧な説明、対応が求められている。

スタッフの対応や印象では、「挨拶、声かけがない」という意見は以前よりも減ってはいるが、「人により差がある」、「受け持ちのスタッフが代わって良くない」、「ベテランの職員は新人職員を十分に指導してほしい」といった意見や、「実習生の態度の悪さ」を指摘する意見も挙げられ、改めて全職員が満足していただける接遇マナーを身に付けられるよう努めるとともに、職員と同様に実習生への接遇面の指導の重要性を再認識させられた。

その他、待合室やキッズスペース等の設備面の充実や、病棟やリハ室等の臭いや消毒等の環境衛生面についても、可能な限り改善に取り組むとともに、今回、満足度の向上した給食サービスについても、給食・栄養管理委員会に対し、寄せられた意見を提供し、メニューの充実や味付けの工夫について改善を図るよう要請したい。

また、今回もアンケートを通じて、多くの利用者の方から、職員に対する温かい励ましや感謝の言葉を頂戴しており、有り難く感じた。これらの利用者の期待に応えるためにも、より一層、安心・安全で心のこもったサービスの提供と質の向上に努めていかなければならないと考える。

今後は、今回の満足度調査の結果を踏まえ、部署毎に改善の必要な項目を検証し、次回調査時の満足度の向上を目指すとともに、センター全体で検討していくべき案件等については、サービス向上委員会を中心に、課題や目標を定め、取り組んでいきたいと考える。

（部門・部署毎の集計結果については別添資料のとおり）

平成29年 3月

サービス向上委員会

### (3) 苦情解決委員会

苦情解決委員会は、例年どおり年3回定期的に開催し、利用者から寄せられた苦情・要望等の内容及び改善策等の報告を行うとともに、委員から業務改善や再発防止のための有益な助言、提案等をいただいた。

また、永年、苦情解決委員を務めていたいた、第三者委員の河野美保子氏、利用者・保護者代表委員の佐々木栄子氏（めじろ園）及び平山智子氏（別府整肢園）の3名が任期満了をもって退任された。

ご意見箱等に投函された苦情・要望の申出件数は、苦情が10件、要望は0件と、昨年度（苦情16件、要望8件 計24件）と比べて件数は減少した。

苦情の内容については、職員の接遇・サービスに関するものが6件、設備・環境に関するものが4件であった。

職員の接遇・サービスに関するものでは、耳鼻科外来診察の待ち時間やリハ前診察の時間短縮に関するものや、職員の態度が悪い（利用者への笑顔、挨拶ができていない）、オムツ交換時の清拭や利用者の者周りの安全確保が徹底されていない等の意見が寄せられ、職員一人ひとりが日頃の態度や行動を振り返るとともに、業務手順の見直しやマニュアルの改善に努めた。

設備・環境に関するものでは、病棟に設置しているDVDデッキの故障・修理に関するものや、施設の入り口前の長時間駐車、過去に台風で破損した看板を撤去したことからセンターの入口が分かりづらい等の意見が寄せられ、DVDデッキ等の定期点検の実施や長時間駐車禁止の看板の設置等を行ったが、入り口の看板については、昨年、神奈川県で発生した障害者施設の利用者殺傷事件を考慮し、当分の間、設置を控えることとした。

#### ① 第1回苦情解決委員会

開催日 平成28年7月38日（金）

報告事項 苦情申出報告 1件 要望申出報告 0件

#### ② 第2回苦情解決委員会

開催日 平成28年11月4日（金）

報告事項 苦情申出報告 8件 要望申出報告 0件

#### ③ 第3回苦情解決委員会

開催日 平成29年2月3日（金）

報告事項 苦情申出報告 1件 要望申出報告 0件

## 6 安全管理の取り組み

過去の事件・事故を風化させないために、安全管理対策強化期間(6月9日から7月4日の期間)を継続し、利用者が安全に過ごせるよう職員全員でセンター全体の安全環境整備に取り組み、安全管理に対する意識を高めることを目的に今年度も全職員の参加を基本として、安全対策強化期間研修を実施した。

医療安全管理者としては、安全管理対策強化期間の研修内容の企画・実施を行った。

### 『安全管理対策強化期間の取り組み』

#### (1) 実施期間

平成28年6月9日（木）～7月4日（月）（一部は期間外）

#### (2) 組織体制

- センター長・・・総括責任者として期間中のすべての取り組みについて指揮命令し、報告を受け総括する。
- 医療安全管理者・・・センター長の指示のもと、具体的取り組みについて、適宜指揮し、その結果をセンター長に報告する。  
研修会の記録をし、業務の都合上参加できない職員に対して、所属長を通してDVDや資料等で伝達する。
- 所属長・・・・各所属における実施責任者として、取り組みを指示し実施する。
- 安全推進専門部会・・各所属での取り組みの円滑な実施のために、所属長を補佐し、協力する。
- 院内感染専門部会・・安全管理マニュアルの見直しと期間中に感染に関する研修を実施する。

#### (3) 実施内容

月 日	時 間	研修方法	研修内容	講師	場所	参加人数
6月6日(月)	17：15～	訓示	センター長の訓示 『医療安全について』	福永 センター長	ひばりホール	135名 87%
7月13日(水)	17：15～	DVD	同上		会議室	
6月15日(水)	17：15～	グループ討議	『施設におけるスタッフのコミュニケーション技術について』活動報告	各部署代表	ひばりホール	134名 86%
7月28日(木)	17：15～	DVD	同上		会議室	
6月30日(木)	17：15～	講義	『発達障害をもつ人との関わり』	OT 吉永充伸氏 保育士	ひばりホール	127名 81%
8月10日(水)	17：15～	DVD	同上	川端博江氏	会議室	
6月24日(金)	17：15～	実技講習	『救急法について』	B L S看護師 長尾麻衣氏 井上真結氏	P T室	121名 77%
7月11日(月)	17：15～	実技講習	同上		PT室	
7月4日(月)	17：15～	講義	終わりの言葉 『職員の事故報告と対応状況』	福永 センター長 衛生委員会	ひばりホール	130名 83%
7月22日(金)	17:15～	DVD	同上		会議室	

## 7 職員研修の状況

### (1) 一般研修

#### ① 新任職員研修

対象者：平成28年度新採用及び採用後未受講職員

・前期　　日程及び内容：4月1日　接遇研修

　　講　師：有限会社ファニーフェイス 代表取締役 山村 美穂子 氏

　　4月6日～8日（3日間）　講義形式の研修会

受講者数 17人／18人中

・中期　　日程及び内容：7月1日から9月30日　各施設の現場体験実習

受講者数 16人／16人中

・後期　　日程及び内容：3月18日　グループ討議及び発表

受講者数 15人／16人中

#### ② 中堅職員研修

対象者：25, 30, 35, 40, 45歳の職員

受講者数 8人／9人中

日程及び内容：10月6日　施設見学研修

・施設見学：佐賀整肢学園こども発達医療センター

#### ③ 監督者研修

対象者：係長級の職員

受講者数 20人／25人中

日程及び内容：11月1日　講義

講　義：「中間管理職の抱える課題・問題点への対処法」

講　師：イノウエ社会保険労務士事務所 井上 雄一 氏

#### ④ 管理職研修

対象者：課長補佐級以上の管理職

受講者数 13人／24人中

日程及び内容：11月24日　講義

講　義：「地域包括ケアの重要性について～地域共生型社会の実現を目指して～」

講　師：杵築市福祉推進課 課長 江藤 修 氏

### (2) 特別研修

#### ① 講　義：「各部署で取り組んだ研究活動等の発表」

対象者：全職員 参加者数 82人

日　程：10月3日

発表者：リハビリテーション課 言語聴覚士 桑野 夏海

リハビリテーション課 理学療法士 武智あかね  
めじろ園 支援課 係長 支援員 末 裕子  
地域療育連携室 相談員 斎藤恵里佳  
地域支援センターほっと 介護福祉士 一色翔太

② 伝達報告会：「ヨーロッパ海外研修報告」

対象者：全職員 参加者数 68人

日 程：1月27日

講 師：地域支援センター 所長 首藤 辰也

③ 講 義：「ストレスへの気付き（セルフケア）・簡単にできるストレス解消法」

対象者：全職員 参加者数 96人

日 程：2月23日及び24日（大分療育センター）

講 師：別府大学臨床心理相談室 室長 矢島 潤平 氏

## 8 補助事業の状況

### (1) 施設修繕工事

- ① 事業名 平成28年度社会福祉施設整備事業費補助金(災害復旧費)
- ② 工事名 別府発達医療センター震災による補修工事
- ③ 事業費 総事業費 6, 480, 000円(消費税込)  
ア 補助対象部分 4, 123, 546円  
(内訳) 補助金額 2, 432, 000円  
・別府整肢園 1, 594, 000円  
・めじろ園 838, 000円  
自己負担額 1, 691, 546円  
イ 補助対象外部分 2, 356, 454円(全額自己負担)
- ④ 完了年月日 ア 補助対象部分 平成29年3月20日  
イ 補助対象外部分 平成29年3月27日

### (2) 設備整備

- ① 事業名 平成28年度社会福祉施設整備事業費補助金  
防犯対策
- ② 工事名 ア 非常通報装置設置工事  
イ 駐車場外灯・センサーライト設置工事  
ウ 防犯カメラ・防犯フィルム設置工事
- ③ 事業費 総事業費 2, 883, 360円(消費税込)  
(内訳) 補助金額 2, 162, 000円  
自己負担額 721, 360円
- ④ 完了年月日 平成29年3月31日

### III 個別事業の実績

#### 【別府センター】

##### 1 診療部門

###### (1)外来診療

年度	24	25	26	27	28	対前年比
診療日数(日)	271	270	272	271	269	△ 2
新患(人)	738	660	870	814	619	△ 195
再来(人)	14,400	15,225	14,312	14,522	14,596	74
合計(人)	15,138	15,885	15,182	15,336	15,215	△ 121
1日平均(人)	55.9	58.8	55.8	56.6	56.6	0.0

###### (2)小児科(再掲)

年度	24	25	26	27	28	対前年比
新患(人)	64	82	114	140	124	△ 16
再来(人)	1,237	1,313	1,333	1,586	1,899	313
合計(人)	1,301	1,395	1,447	1,726	2,023	297
1日平均(人)	4.8	5.2	5.3	6.4	7.5	1.1

###### (3)耳鼻科(再掲)

年度	24	25	26	27	28	対前年比
診療日数(日)	47	45	46	50	47	△ 3
新患(人)	46	34	36	43	34	△ 9
再来(人)	305	272	246	308	319	11
合計(人)	351	306	282	351	353	2
1日平均(人)	7.5	6.8	6.1	7.0	7.5	0.5

###### (4)側弯検診(再掲)

年度	24	25	26	27	28	対前年比
新患(人)	177	113	189	204	44	△ 160.0
再来(人)	173	207	237	218	230	12.0
合計(人)	350	320	426	422	274	△ 148.0
1日平均(人)	18.4	16.8	15.8	22.2	11.4	△ 10.8

###### (5)歯科

年度	24	25	26	27	28	対前年比
診療日数(日)	89	94	94	90	69	△ 21
新患(人)	185	169	109	50	71	21
再来(人)	809	1,108	1,205	1,013	618	△ 395
合計(人)	994	1,277	1,314	1,063	689	△ 374
1日平均(人)	11.2	13.6	14.0	11.8	10.0	△ 1.8
鎮静法下治療延数	14	23	28	12	14	2

## (6)手術等の件数

(単位:例)

年度	24	25	26	27	28	対前年度
骨長調整術	1	0	12	6	2	△ 4
骨切り術	2	9	2	5	2	△ 3
骨盤骨切り術	1	0	2	2	0	△ 2
骨内異物除去術	9	9	12	21	15	△ 6
腱延長術	5	5	4	5	5	0
腱移行術	1	0	0	0	1	1
内反足術	4	1	1	2	5	3
股関節内転筋切離術	0	1	0	2	1	△ 1
股関節筋群解離術	3	5	0	2	4	2
関節脱臼非観血的整復術	2	3	2	3	1	△ 2
観血的関節授動術	0	10	11	8	0	△ 8
その他	22	21	35	16	21	5
合計	50	64	81	72	57	△ 15
ボツリヌス毒素使用	248	232	250	240	200	△ 40
全身麻酔下の歯科処置	24	29	28	33	27	△ 6

## (7)リハビリテーション

年度	24	25	26	27	28	対前年度
延べ人数 (人)	30,157	34,031	34,675	32,463	33,732	1,269
理学療法 (単位)	19,635	26,285	30,523	25,874	26,728	854
作業療法 (単位)	25,246	26,960	25,295	24,127	25,963	1,836
言語聴覚療法 (単位)	14,743	16,681	16,236	16,370	16,187	△ 183

## (8)調剤数

(単位:件)

年度	24	25	26	27	28	対前年度
入院	12,462	13,425	13,546	10,865	12,481	1,616
外来	210	219	226	687	247	△ 440
合計	12,672	13,644	13,772	11,552	12,728	1,176

## (9)検査件数(院内実施分)

年度	24	25	26	27	28	対前年度
脳波検査	135	137	142	123	119	△ 4
心電図	128	158	155	157	130	△ 27
ABR他	29	21	14	29	24	△ 5
血液検査	503	610	638	823	603	△ 220
尿検査他	364	396	409	406	325	△ 81
生化学	107	261	211	189	92	△ 97
血液ガス	98	110	74	135	62	△ 73
合計	1,364	1,693	1,643	1,862	1,355	△ 507

## (10)X線撮影

年度	24	25	26	27	28	対前年度
単純撮影	1,519	2,027	2,192	2,109	1,945	△ 164

## 2 入園部門

### (1)別府整肢園 (定員60人)

#### ①入所者数

単位:人

年度	24	25	26	27	28	対前年度
前年度から継続	36	39	41	48	37	△ 11
入園	144	161	169	186	167	△ 19
退園	142	158	162	197	166	△ 31
延在籍人員	13,913	15,364	14,989	14,686	15,303	617
一日平均在籍	38.1	42.1	41.1	40.2	41.9	1.7

#### ②就学状況

単位:人

年度	24	25	26	27	28	対前年度
小学部	19	23	19	11	14	3
中学部	5	4	8	9	9	0
高等部	2	3	6	6	4	△ 2
合計	26	30	33	26	27	1

#### ③短期入所等(空床利用)

単位:人

年度	24	25	26	27	28	対前年度
延べ件数 (件)	73	91	94	124	119	△ 5
延べ日数 (日)	240	338	321	350	346	△ 4
日中一時支援 (日)	14	26	34	5	6	1

## (2)めじろ園 (定員60人)

#### ①入所者数

単位:人

年度	24	25	26	27	28	対前年度
前年度から継続	60	57	59	56	58	2
入園	6	10	6	4	5	1
退園	7	13	8	2	6	4
延在籍人員	21,712	20,736	20,932	21,128	20,999	△ 129
一日平均在籍	59.5	57	57.3	57.7	57.5	△ 0.2

#### ②就学状況

単位:人

年度	24	25	26	27	28	対前年度
小学部	1	1	2	2	2	0
中学部	0	0	0	0	0	0
高等部	4	5	4	2	0	△ 2
合計	5	6	6	4	2	△ 2

#### ③短期入所等(併設4床)

単位:人

年度	24	25	26	27	28	対前年度
延べ日数 (日)	309	342	614	354	464	110
日中一時支援 (日)	41	28	32	34	16	△ 18

### 3 通園部門

ひばり園 (定員30人)	(単位:人)					
年度	24	25	26	27	28	対前年度
継続児数	37	43	35	34	28	△ 6
入園児数	31	22	19	15	29	14
退園児数	25	31	21	22	19	△ 3
年間利用者数	68	65	54	49	57	8
延利用者数	4,562	4,659	4,681	4,463	3,965	△ 498
一日平均	18.0	18.1	18.3	17.3	15.6	△ 1.7

### 4 地域支援センターほっと

年度	24	25	26	27	28	対前年度	単位
生活介護	登録者数	51	48	47	47	48	1 人
	延利用者数	5,110	4,705	4,730	4,688	4,550	△ 138 人
	一日平均	20.5	19.4	19.4	19.4	18.6	△ 1 人
放課後等デイサービス	登録者数	18	26	20	21	23	2 人
	延利用者数	2,028	1,839	1,763	1,984	1,898	△ 86 人
	一日平均	7.0	6.5	6.1	6.8	7.1	0.3 人
居宅介護	登録者数	23	19	18	17	17	0 人
	延利用時間数	2,645	1,730	1,474	1,662	1,496	△ 166 時間
行動援護	登録者数	14	19	22	14	18	4 人
	延利用時間数	4,560	4,976	4,538	4,242	3,735	△ 508 時間
日中一時支援(ショートステイ)	登録者数	14	9	9	8	9	1 人
	延利用者数	246	270	276	278	272	△ 6 人
個別移動支援	登録者数	15	16	17	14	16	2 人
	延利用時間数	1,434.5	1,234.5	1,249.5	1,103.0	1,149.0	46 時間
送迎移動支援	登録者数	2	2	1	1	1	0 人
	延利用者数	106	35	22	20	12	△ 8 人
ほっとサービス	登録者数	8	5	5	5	5	0 人
	延利用者数	845	1,202	1,241	367	205	△ 162 人

### 5 地域療育関連主要事業

年度	24	25	26	27	28	対前年度
訪問療育等	巡回相談	257	252	268	223	240
	訪問援助	140	111	105	100	108
	計	397	363	373	323	348
大分県分	保育	1,650	1,369	1,273	1,300	1,487
	外来療育等	113	210	273	151	170
	その他	30	47	43	46	20
	計	1,793	1,626	1,589	1,495	1,677
施設支援一般指導	96	107	100	79	86	7
	施設支援専門指導	4	2	2	2	0
別府市委託相談事業	2,257	1,769	2,341	1,861	2,601	740
計画	障害児計画相談支援	4	67	143	130	155
	①サービス利用支援	2	47	98	102	123
	②継続利用支援	2	20	45	28	32
相談	障害者計画相談	11	153	244	237	255
	①サービス利用支援	8	107	163	134	143
	②継続利用支援	3	46	81	103	123

【大分センター】

6 外来診療部門

(1)リハビリテーション科

年度	24	25	26	27	28	対前年比
診 療 日 数 (日)	247	249	249	249	247	△ 2.0
新 患 (人)	88	65	105	125	124	△ 1.0
再 来 (人)	15,248	15,681	15,329	15,350	15,173	△ 177.0
合 計 (人)	15,336	15,746	15,434	15,475	15,297	△ 178.0
1 日 平 均 (人)	62.1	68.3	62.0	62.1	62.9	0.8

(2)精神科

年度	24	25	26	27	28	対前年比
診 療 日 数 (日)	233	248	236	249	247	△ 2.0
新 患 (人)	149	279	149	187	174	△ 13.0
再 来 (人)	2,207	2,598	2,026	1,969	2,195	226.0
合 計 (人)	2,356	2,877	2,175	2,156	2,369	213.0
1 日 平 均 (人)	10.1	11.6	9.2	8.7	10.6	1.9

(3)小児科

年度	24	25	26	27	28	対前年比
診 療 日 数 (日)	18	18	55	11	5	△ 6
新 患 (人)	3	14	28	1	0	△ 1
再 来 (人)	55	62	84	37	19	△ 18
合 計 (人)	58	76	112	38	19	△ 19
1 日 平 均 (人)	3.2	4.2	2.0	3.5	3.8	0.3

(4)歯科

年度	24	25	26	27	28	対前年比
診 療 日 数 (日)	193	188	191	189	182	△ 7
新 患 (人)	706	776	430	214	194	△ 20
再 来 (人)	2,276	2,556	2,929	3,296	2,696	△ 600
合 計 (人)	2,982	3,332	3,359	3,510	2,890	△ 620
1 日 平 均 (人)	15.5	17.7	17.6	18.6	15.9	△ 2.7
鎮 静 法 下 治 療 延 数	206	233	265	334	265	△ 69

(5)リハビリテーション

年度	24	25	26	27	28	対前年比
理学療法 (単位)	16,665	16,233	16,563	17,165	17,204	39
作業療法 (単位)	21,037	23,855	23,486	23,839	23,072	△ 767
言語聴覚療法 (単位)	14,282	16,972	15,043	14,845	15,714	869

## 7 通園部門

(1)こじか園 (定員20人)

(単位:人)

年度	24	25	26	27	28	対前年度
継続児数	23	39	18	34	38	4
入園児数	30	18	21	26	19	△ 7
退園児数	2	21	23	22	18	△ 4
登録者数	51	36	50	60	54	△ 6
延利用者数	2,457	2,915	2,791	3,421	3,569	148
一日平均	9.9	11.8	11.2	13.9	14.7	0.8

\*平成24年度からは福祉型児童発達支援センターへ移行

(2)りんく (定員18人)

(単位:人)

年度	24	25	26	27	28	対前年度
生活介護	登録者数	19	19	18	19	20
	延利用者数	2,459	2,472	1,990	2,052	2,263
	一日平均	9.9	9.9	8.0	8.2	9.2
放課後デイサービス	登録者数	5	4	6	9	11
	延利用者数	112	203	165	151	115
	一日平均	1.3	2.1	2.4	2.1	1.6
						△ 0.5

## 8 地域療育関連主要事業

(単位:件)

年度	24	25	26	27	28	対前年度
大分市分	巡回相談	170	167	115	112	104
	訪問療育等	862	774	772	618	575
	訪問援助					△ 43
	計	1,032	941	887	730	679
外來療育等	保育	1,997	1,639	1,421	1,417	1,431
	SW等	127	127	66	12	64
	その他	417	559	575	301	176
	計	2,541	2,325	2,062	1,730	1,671
施設支援一般指導	34	38	28	38	28	△ 10
佐伯市メディカルサポート	2	3	0	3	3	0
発達障害児巡回専門員派遣事業			14	2	6	4
計画相談	障害児計画相談支援	12	163	291	407	433
	①サービス利用支援	3	111	166	207	206
	②継続利用支援	9	52	125	200	227
	障害者計画相談	0	2	1	6	8
	①サービス利用支援	0	2	1	3	5
	②継続利用支援	0	0	0	3	0

## 9 ソーシャルスキルトレーニング

(単位:人)

年度	24	25	26	27	28	対前年度
延利用者数	前期	248	176			
	後期	240	128	269	132	23
合計		488	304			△ 109

## IV 職員の状況(平成27年4月1日)

(単位:人)

## (1) 別府センター

	職種	センター(本部、事務局、地域連携)	診療部	リハビリテーション課	別府整形園	めじろ園	ひばり園	地域支援センター	合計	26年度(H26.4.1)
正規	センター長・園長・所長				1	1		1	3	2
	副センター長・副園長							0	1	1
	事務局長							0	0	0
	事務職員	10						10	10	10
	栄養士		1					1	1	1
	医師		3					3	3	3
	歯科医師							0	0	0
	薬剤師							0	1	1
	検査技師		1					1	1	1
	放射線技師		1					1	1	1
	歯科衛生士							0	0	0
	理学療法士(PT)			9				9	9	9
	作業療法士(OT)			8				8	9	9
	言語聴覚士(ST)			8				8	7	7
	看護師				26	20		46	44	44
	准看護師					1		1	1	1
	介護福祉士				2	15	2	19	15	15
	介護員							0	0	0
	支援員				5	2	5	12	11	11
	児童指導員				1	1	1	3	3	3
	保育士						5	5	4	4
	相談員	4						4	4	4
	ホームヘルパー							0	0	0
	小計	14	6	25	35	40	6	8	134	127
嘱託	園長・所長・局長	1					1		2	2
	室長代理	1						1	1	1
	事務職員							0	0	0
	看護師					2		2	1	1
	薬剤師		1					1	1	1
	支援員							0	0	0
特別嘱託	営繕員	1						1	1	1
	当直業務	1						1	1	1
准	介護福祉士					1		1	1	1
	事務職員	2						2	2	2
	栄養士							0	0	0
	営繕員							0	0	0
	運転士							0	0	0
	作業療法士(OT)							0	0	0
	歯科衛生士							0	0	0
	相談員							0	0	0
	看護師						1	1	1	1
	准看護師					2		2	3	3
	介護福祉士					5		5	5	5
	介護員				1	4		5	9	9
	支援員				1	3	4	8	8	8
	保育士						1	1	2	2
	ホームヘルパー							0	0	0
	小計	6	1	0	2	17	2	5	33	38
	医師		1						1	0
	事務職員	1							1	1
	看護師							0	1	1
	准看護師						1	1	1	1
	介護福祉士							0	0	0
	介護員					4	5		9	9
	支援員							8	8	7
	保育士							0	1	1
	ホームヘルパー						12	12	11	11
	営繕員						1	1	1	1
	宿直専門員	1						1	1	1
	歯科衛生士		1					1	1	1
	運転士						2	2	2	2
	小計	2	2	0	4	5	0	24	37	36
	合計	22	9	25	41	62	8	37	204	201
短時間	医師		20				1		21	10
	臨床心理士		1						1	1
	小計	0	21	0	0	0	1	0	22	11
	事務業務								0	1
	介護業務					3			3	2
	給食業務	10							10	10
	清掃洗濯	5							5	5
	小計	15	0	0	0	3	0	0	18	18
	総計	37	30	25	41	65	9	37	244	230

## (2) 大分センター

(単位:人)

職種	総務課	地域療育連携室	大分療育クリニック		こじか園	りんく	合計	26年度(H26.4.1)
			医療課	リハビリテーション課				
センター所長・園長			1				1	0
副センター所長・次長							0	0
事務局長							0	0
企画室長							0	0
事務職員	1						1	1
栄養士							0	0
医師			2				2	2
歯科医師			1				1	1
薬剤師							0	0
検査技師							0	0
放射線技師							0	0
歯科衛生士			2				2	2
臨床心理士			2				2	2
理学療法士(PT)				5			5	5
作業療法士(OT)				7			7	7
言語聴覚士(ST)				5			5	4
看護師			1				1	1
准看護師							0	0
介護福祉士							0	0
介護員							0	0
児童指導員							0	0
支援員						3	3	3
保育士					5		5	5
相談員		2					2	1
ホームヘルパー							0	0
小計	1	2	9	17	5	3	37	34
園長・所長							0	0
次長	1						1	1
事務職員							0	0
運転士							0	0
臨床心理士							0	1
保育士							0	0
事務職員	1		1				2	2
児童指導員					1		1	1
運転士							0	0
歯科衛生士			2				2	1
相談員		1					1	2
看護師			1			2	3	3
准看護師							0	0
介護福祉士							0	0
介護員							0	0
支援員							0	0
保育士							0	0
ホームヘルパー							0	0
小計	2	1	4	0	1	2	10	11
事務職員		1					1	1
作業療法士(OT)							0	0
介護福祉士							0	0
介護員							0	0
支援員						2	2	2
保育士					1		1	0
ホームヘルパー							0	0
心理士助手							0	0
営繕員							0	0
運転士							0	0
小計	1	0	0	0	1	2	4	3
合計	4	3	13	17	7	7	51	48

非常勤	医師		7			7	7
	音楽療法士			1		1	1
	小計	0	0	7	0	1	8
委託	栄養士	1				1	1
	調理員	2				2	2
	小計	3	0	0	0	0	3

総計	7	3	20	17	8	7	62	59
----	---	---	----	----	---	---	----	----

## (3) 法人合計

(単位:人)

雇用種別	別府センター	大分センター	合計	26年度 (H26.4.1)
正規職員	134	37	171	161
嘱託職員	9	1	10	10
准職員	24	9	33	39
短時間職員	37	4	41	39
小計	204	51	255	249
非常勤職員	22	8	30	19
業務委託	18	3	21	21
合計	244	62	306	289